

立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

五 夕
木炭組合の陳情
結局にぎり潰しか
希望を達するためには
省令の改正を要す

組合と提携し第地に陥つた同業者救濟策として既報の如く一、拂下物件調査の嚴正を期する事二、拂下代金を四割引下げる事三、拂下残金拂込期間を六ヶ月延長する事四、延納金公債擔保提供差替期間を二ヶ月間とする事五、拂下物件調査は從來より材料を附して大藏省に廻したので同省の關門を無事通過すれば開業が出来る程度になつた、政變のため多少認可の遅れるのは止むを得ないが重役がこの機會に於て慎重な態度を執らねば一年二ヶ月間の努力が水泡に歸するので公金預金者委員會では銀行側の態度を監視しつゝ大藏省の認可促進の運動を起す事になつた

▲青年同盟會員募集 平

七一票 青天目信次郎
六四票 中野新
六〇票 小松章
五三票 鈴木庄兵衛
五八票 大平陸四郎
五一票 荒川忠太
四五票 荒川又助
三九票 柳田平右衛門
石川文勝

青天目信次郎
中野新
小松章
鈴木庄兵衛
大平陸四郎
荒川忠太
荒川又助
柳田平右衛門
石川文勝

全部省令の改正を必要とし殊に三、四項は既に全國材木商業者から陳情があつたが最も弊害があるとして採用しなかつた問題で今回も陳情も結局握り潰しに至るであらうと察せられてゐる

三二二票 圓部里次
三二一票 下山田甚次兵衛
二四票 柳田總吉
三九票 柳田總吉
聚樂館で
軍樂演奏會

平町在郷軍人分會海軍班では、来る十五日から小名濱港に碇泊する軍艦五十鈴の軍樂隊を平町に呼び二十日聚樂館に於て演奏會を催す事になつたが、當日は活動寫真をも映寫するので一般入場者の多い事を豫想し特に晩夜二回催はす事になつた。

▲立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

三二二票 圓部里次
三二一票 下山田甚次兵衛
二四票 柳田總吉
三九票 柳田總吉
聚樂館で
軍樂演奏會

平町土木請負業者が結束して擁立した平町會議員候補者佐々木健一郎氏が落選した事は既報である平町長橋町荒川銀次氏が裏切つて他候補の運動を行つた事である。その敗因は土木請負業者如くでその敗因は土木請負業者である。佐々木氏が落選した事は既報である。

立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

三二二票 圓部里次
三二一票 下山田甚次兵衛
二四票 柳田總吉
三九票 柳田總吉
聚樂館で
軍樂演奏會

平町土木請負業者が結束して擁立した平町會議員候補者佐々木健一郎氏が落選した事は既報である。佐々木氏が落選した事は既報である。

立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

三二二票 圓部里次
三二一票 下山田甚次兵衛
二四票 柳田總吉
三九票 柳田總吉
聚樂館で
軍樂演奏會

平町土木請負業者が結束して擁立した平町會議員候補者佐々木健一郎氏が落選した事は既報である。佐々木氏が落選した事は既報である。

立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

三二二票 圓部里次
三二一票 下山田甚次兵衛
二四票 柳田總吉
三九票 柳田總吉
聚樂館で
軍樂演奏會

平町土木請負業者が結束して擁立した平町會議員候補者佐々木健一郎氏が落選した事は既報である。佐々木氏が落選した事は既報である。

立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

三二二票 圓部里次
三二一票 下山田甚次兵衛
二四票 柳田總吉
三九票 柳田總吉
聚樂館で
軍樂演奏會

平町土木請負業者が結束して擁立した平町會議員候補者佐々木健一郎氏が落選した事は既報である。佐々木氏が落選した事は既報である。

立 烏 時 報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印 刷 所 加 納 活 版 所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發 行 所 紺屋町時報社
一部金武錢一千月金多拾錢
(日曜)四月二十日
廣告料一月三十元
休刊日五五九月一日

